

---

# エアバス 行動規範

CODE OF CONDUCT



**AIRBUS**

# 目次

## CEO のメッセージ

この行動規範は、誰に対して適用されますか？

私たちの事業における行動規範の役割

コンプライアンス違反の影響

声を上げ(スピーク・アップ)、耳を傾ける(リッスン・アップ)

私たちのコアバリュー

## 17 私たちと文化

リーダーシップ

労使関係

ハラスメントと差別の防止

私たちの安全

人権

包摂(インクルージョン)と多様性(ダイバーシティ)

地域社会への影響

## 33 プロダクト&アセット(資産)

航空安全

品質

セキュリティ

環境

## 43 誠実さとコンプライアンス

賄賂と汚職

第三者との関係

詐欺

輸出管理(エクスポート・コントロール)と制裁

公正な競争

利益相反

インサイダー取引

マネーロンダリングと脱税

デジタル倫理

# 「誠実さと正直さをもって 事業を行うための規範」

## CEO の メッセージ



従業員のみなさん

エアバスでは、あらゆる行動において最高の倫理基準を遵守することを求めています。企業として成り立つか失敗するかは、これらの基準に対する私たちの取り組みによって決まります。「インテグリティ(誠実さ)」と「コンプライアンス」が、安全、品質、セキュリティと並び、当社の五つの柱の二つを構成しているのはそのためです。

ごく最近、私たちが誠実に行動できなかったことは、エアバスにとって非常に重い経済的および社会的評判上の代償をもたらしました。これは、二度と負うことのできない代償です。

この新しい行動規範は、当社が体現すべき基本となる価値観を定めています。これらは、日々の私たちのあらゆる取り組みの指針となるものです。

新しい規範を注意深く読み、よく考え、日々の実務の指針としてください。

私たち皆で力を合わせ、私たちの価値観を守りながら、航空宇宙分野の課題に引き続き取り組んでまいりましょう。

皆さんの揺るぎない取り組みに感謝します。  
— Guillaume Faury

## この行動規範は、 誰に対して適用さ れますか？

私たちは、最終組立ラインから役員会に至るまで、組織全体を通じてこの行動規範を受け入れ、遵守します。

この行動規範は、私たちが管理するすべての関連会社や合併事業内の、すべてのエアバス従業員および取締役、職務、責任、勤続年数、場所に関係なく適用されます。加えて、エアバスは、顧客、サプライヤー、パートナー、協力会社を含むその他のステークホルダーに対しても、強固な倫理基準の受け入れをお願いします。

私たちは、この行動規範を従業員、取締役、そして他のステークホルダーが容易にアクセスできるように公開しています。





## 私たちの事業における 行動規範の役割

この行動規範は、倫理的な行動と責任ある事業慣行に関して、エアバスが期待する事項と基準を皆様に理解していただくことを目的としています。この行動規範の各章には、「すべきこと」(Do's)と「すべきでないこと」(Don'ts)が含まれており、事業の進め方について疑問が生じた際の参考ガイドとして役立ちます。この行動規範は、頻繁に発生する問題に関する実用的な例を提供していますが、発生しうるすべての状況を予測することは不可能です。

**迷ったときには、以下の4つのステップに従うことを推奨します。**

**1. 立ち止まり、熟慮し、すべての事実を集める**  
その状況はあなたや他の人を不快にさせませんか？関連するすべての事実を把握していますか？適用すべき特定の手順はありますか？

**2. 状況を評価する**  
その行動は、エアバスの価値観、および安全性、品質、誠実さ(インテグリティ)、コンプライアンス、セキュリティという当社の柱と整合していますか？

**3. 助言を求める**  
あなたは一人ではありません。マネージャー、当該分野の専門職、人事ビジネスパートナー(HRBP)、または法務・コンプライアンスチームのメンバーと状況について話し合うことをお勧めします。

**4. 行動し、学ぶ**  
結果に基づいて対応し、得られた教訓を検討しましょう。

## コンプライアンス 違反の影響

この行動規範を遵守しなかった場合、会社および個人に重大な結果をもたらす可能性があります。

- エアバスの評判が損なわれ、同僚、顧客、パートナー、その他のステークホルダーからの信頼を維持することが困難になります。
- 罰金、訴訟、または最悪の場合には刑事訴追といった法的結果に至る場合もあります。
- 規則が守られない職場環境では、同僚が不快感や意欲の低下を感じる可能性があるため、チームの士気やエンゲージメントが損なわれます。
- 正式な警告から解雇まで、様々な懲戒量定があり、違反の重大性に応じて適用されます。

**したがって、私たちがこの行動規範を正しく理解し、尊重することが求められています。**





## 声を上げ(スピーク・アップ)、 耳を傾ける(リッスン・アップ)

エアバスは、すべての従業員が意見を共有し、質問し、懸念を表明し、または不正行為を報告することに抵抗を感じない職場環境の醸成にコミットしています。そうすることで、潜在的な不正行為を予防し、発見し、是正することができます。

あなたは、マネージャー(またはさらに上級のマネージャー)、人事ビジネスパートナー(HRBP)、倫理・コンプライアンス担当者、輸出管理の連絡窓口、または法務・コンプライアンスチームのメンバーに声を上げる(スピーク・アップ)ことができます。また、エアバス・オープンライン([www.airbusopenline.com](http://www.airbusopenline.com))を通じて、機密または匿名で情報を提供することも可能です。マネージャーまたはチームリーダーは、これらの懸念に耳を傾ける(リッスン・アップ)適切に対応・エスカレーションし、フィードバックを提供しなければなりません。

エアバスは、声を上げた人(スピーク・アップした人)、または違反の疑いに関する調査に協力する人に対するいかなる報復も容認しません。誠意をもって懸念を報告したことに対して報復を受けたと感じた場合は、直ちに法務・コンプライアンスチームに連絡してください。

すべての報告は、エアバス全体の正式なポリシーおよび適用される現地の規制に従って管理されます。調査プロセス中、独立した客観的なチームは、推定無罪、公平性、および機密保持の原則の下で事実を把握します。エアバスは、調査に関わるすべての人が完全かつ正直に協力することを期待します。明白な違反があった場合には、是正措置および懲戒措置が取られることがあります。懸念を報告した場合、関与者全員の機密性とプライバシーを維持しつつ、結果についてフィードバックを受け取ることができます。

本行動規範のいかなる規定も、あなたが法的な違反の可能性を関係当局に報告することを妨げるものではありません。



# 私達の 価値

私たちは一つ/チームワーク!

顧客重視

信頼性

尊重

創造性

インテグリティ (誠実さ)



# 私たちと文化

# リーダーシップ

## 原則

私たちのリーダーとマネージャーは、従業員が会社の優先事項を達成できるように、適切な枠組みを設定し、運用します。私たちは、彼らがこの役割を果たすとともに、エアバスの内外を問わず、あらゆる活動において、誠実さと敬意の文化を浸透させ、模範を示すことを期待しています。彼らは、すべて従業員に対し、自分自身、プロジェクト、コミュニティを導く際に、当社のリーダーシップ原則を受け入れるよう率先垂範します。

## 例示的な事例



会社の優先事項と戦略的な方向性を、チームにとって具体的な目標と達成可能なタスクに落とし込んでいます。



活動のパフォーマンスを管理し、計画された軌道からの逸脱があった場合には迅速に対応しています。



積極的に耳を傾け、あらゆるレベルの従業員間の対話を促進しています。



常に進化する世界と社会に備えるため、私たちのコアとなる信念を常に問い続けています。



会社の原則と価値観が私たちの行動に根付いていることを確実にしています。

## 私たちが行うこと

自身の影響範囲に責任を持ち、成功を推進します。

お客様を満足させるために、あらゆることに手を尽くします。

経営リーダーシップと現場のチームとの連携を確実にします。

自由に意見を述べられる、発言しやすい文化(スピーク・アップ)を奨励します。

## 私たちが行わないこと

不確実な状況下であっても、困難な決断から逃げません。

当社の柱である、安全性、品質、セキュリティ、誠実さ(インテグリティ)、コンプライアンスを妥協しません。

会社の成功よりも個人の功績を優先しません。

対立や問題を未解決のまま放置しません。

## 労使関係

### 原則

エアバスは、経済的な成功と従業員の福利厚生を促進するため、企業、経営者団体、労働組合、国際機関、その他のステークホルダーと長年にわたり協力してきました。エアバスは、国際労働機関 (ILO) の条約および OECD 多国籍企業行動指針の遵守にコミットすることにより、従業員が国内法、労働協約、および地域の慣習に従って、労働組合や従業員代表組織を結成し、加入し、活動する権利を認めています。

## 例示的な事例



すべての労働協約と方針が国際基準および現地法を尊重しつつ、すべての地域で一貫して実施されるようにしています。



従業員のニーズと会社の目標とのバランスを取るよう努めています。



従業員が報復を恐れることなく、自由に自己を表現し、労働組合に加入するかどうかを選択する権利を支援しています。

### 私たちが行うこと

すべての従業員を公平かつ公正に扱うため、労使対話を推進します。

意思決定を行う際に会社の利益を損なうことなく、各国の労働法および適用される協定に従って、労働組合の活動と貢献を認めます。

### 私たちが行わないこと

従業員が自らの利益を代表する組織を結成または加入する自由な選択に干渉したり、影響を与えたりしません。

特定の従業員や労働組合員を、他の者と比べて有利または不利に扱いません。

# ハラスメントと差別の防止

## 原則

私たちは、ハラスメント、差別、いじめのない、安全で公平、かつ相互に尊重しあう職場環境を提供することにコミットしています。私たちは皆、責任を負っており、相互の間、そして顧客やその他のステークホルダーとの接し方や振る舞いにおいて、模範的でなければなりません。

## 例示的なリスク



大声で怒鳴る、侮辱する、批判する、または個人をけなすなどの言葉による虐待を行う。



他者を脅迫する、屈辱を与える、または威嚇する。



性的な誘いをかけたり、相手の意思に反して身体に触れたりする。

性的な性質を持つ画像、ポスター、または動画を展示する。



年齢、性別、人種、国籍、宗教、性的指向、身体能力などの個人的な特性に基づいて、特定の人物に職位を提供しない。

## 私たちが行うこと

業務上関わるすべての人を尊厳をもって公正に扱い、私たちが他者に与える影響を理解します。

常に敬意をもって接します。

不適切な行動を経験または目撃した場合、声を上げる(スピーク・アップ)か、助けを求めます。

## 私たちが行わないこと

不適切な行動を無視しません。

非礼な行動が常態化するのを許容しません。

間違った行動を真似たり、模倣したりしません。

# 人びとの安全

## 原則

エアバスの従業員として、私たちは常に健康と安全に関する規則と優良事例を業務に取り入れ、リスクを予測し、適切な緩和策を講じます。私たちは、自分自身と他者の心身の健康に責任を持ち、職場の安全、健康、または誠実さ（インテグリティ）が損なわれた場合は声を上げます（スピーク・アップ）。私たちは、学習と能力によって支えられた、ポジティブ・ヘルスと安全文化を育むことに積極的に参画します。

## 例示的なリスク



義務付けられている、または適切な個人用保護具を着用しない。



安全性や人間工学の観点から不適切に設定された作業環境（ワークステーション）で作業してしまう。



化学物質やその他の危険有害物質を不適切に使用または取り扱ってしまう。

## 私たちが行うこと

私たちの活動に関連する健康と安全のリスクと、それらを予防するために策定された措置を確実に理解します。

私たちの健康と安全に関するスキルと意識を維持します。

事故が発生した際は、状況を確保し、その出来事を報告し、予防措置を再評価することで対応します。

健康と安全の基準が損なわれているのを見かけた場合、介入するか、声を上げます（スピーク・アップ）。

## 私たちが行わないこと

職場や活動のために定められた健康と安全のベスト・プラクティス（優良事例）を無視しません。

時間、予算、または業績基準などの制約を理由に、健康と安全を犠牲にしません。

私たちの活動や職場に関連するリスクを過小評価しません。

# 人権

## 原則

当社の事業、オペレーション、サプライチェーン全体で人権尊重を徹底し、国際的な人権基準・原則に沿った取り組みを推進しています。

## 例示的なリスク



労働者搾取を示すような兆し。例として、過度な長時間労働や、パスポートの取り上げなどの手段による強制労働が挙げられます。



労働者の不当な扱いを示す可能性のある状況や環境。例えば、不安全または不衛生な労働条件などが該当します。



15歳未満の児童の雇用（現地の法律で許可されている場合でも）。

## 私たちが行うこと

当社の事業活動に関連して発生する人権への負の影響について、当社がそれを引き起こしたか、助長したか、あるいは直接的に関与しているかにかかわらず、その回避、防止、または軽減に努めます。

原材料の調達や、人権侵害につながったり、紛争の資金源となったりせず、かつ強制労働や児童労働のないものであるよう確実を期します。

移住労働者やその他のマイノリティグループなどの脆弱な集団に対しては、特に配慮します。

地域社会や先住民族の権利、特に自由な、事前の、かつ十分な情報に基づく同意の権利を尊重します。

## 私たちが行わないこと

意図的に人権を侵害し、当社の「人権ポリシー」に反する行為を引き起こしたり、それに加担したりしません。

エアバス社の製品やサービスに関わる全ての人々の人権を侵害する可能性のある状況を無視しません。

適切な社内ガイダンスや専門知識を求めずに問題に取り組むことはしません。これらを怠れば、意図しない結果を招く可能性があるためです。

# 包摂 (インクルージョン) と多様性 (ダイバーシティ)

## 原則

エアバス社は、全ての従業員が帰属意識とエンゲージメント (主体的な関わり) を感じられる、安全でインクルーシブ (包摂的) な職場づくりにコミットします。私たちは、性別、年齢、人種、民族、社会的・文化的背景の多様性、LGBT+、ニューロダイバーシティ (神経多様性)、身体能力など、様々な側面を考慮に入れ、より多様性のある職場の実現を目指します。

## 例示的なリスク



個人の身体能力や文化的な感じ方や受けとめ方を無視したチーム活動を企画してしまう。



人種差別的、性差別的、同性愛嫌悪的、または配慮に欠けると受け取られかねないジョークを言ってしまう。



噂を流したり他者の評判を傷つけてしまう。

## 私たちが行うこと

様々な視点を求め、意図的にインクルーシブ (包摂的) であること。オープンで安全、かつ歓迎される環境を維持します。

自身の言動が他者に与える影響を常に意識し、無礼な行為を見かけた際は声を上げます (スピーク・アップ)。

私たちのビジネス上の判断を妨げる可能性のある、あらゆる無意識の偏見 (年齢、ジェンダー、人種、国籍、宗教、性的指向、または身体能力などの個人的な特性に基づくもの) を認識します。

これらのトピックについて自ら時間をかけて学びます。

## 私たちが行わないこと

決まり文句やステレオタイプ (固定観念) に基づいた言葉を使いません。

えこひいき (不公平な優遇) をしません。

非礼、いじめ、職場での嫌がらせといった排他的な行動を取りません。異なる個人やグループを差別したり孤立させたりしません。

関連するすべての要素の総合的評価を無視して、多様性の側面のみに基づいて意思決定を行いません。

## 地域社会への影響

### 原則

当社は、永続的にポジティブな影響を生み出すことを目指し、地域のステークホルダーや国際機関と連携することで、コミュニティの繁栄に貢献するよう努めています。当社は、事業部門、従業員、そしてエアバス財団を通じた集合的なアプローチにより、持続可能で公平性があり、測定可能なソリューションの創出に注力しています。従業員による寄付やボランティア活動は、「+impact」プラットフォームを通じて拡充され、世界中の非営利団体との連携機会が提供されています。

Search on the Hub these keywords:  
Airbus Foundation • +impact • Youth development • Humanitarian

## 例示的な事例



教育および技能開発プログラムを展開することで、若者の育成を支援しています。



エアバス財団を通じて、災害対応や環境保全を支援するためのエアバス製品およびサービスの利用機会を提供しています。



「+impact」プラットフォームを通じて、従業員がサステナビリティ(持続可能性)に関するトピックで、ボランティア活動、寄付、資金調達などに取り組むことを可能にしています。

### 私たちが行うこと

コミュニティへの影響(コミュニティ・インパクト)に関する優先事項と、ポジティブな社会的な影響(ポジティブ・ソーシャル・インパクト)に貢献するために存在するメカニズムについて理解を深めます。

会社の慈善寄付が適切、衡平で、コミュニティへの影響(コミュニティ・インパクト)戦略に合致するようにします。

### 私たちが行わないこと

スポンサーシップと寄付に関して適用されるエアバスのポリシーに基づく事前の審査と承認なしに、エアバスを代表していかなる慈善寄付(政治献金を含む)も行いません。

マイクロフォレストの植樹やゴミ拾い活動などの従業員によるボランティア活動を、エアバスの環境目標と関連付けることはしません。

# プロダクト & アセット (資産)



# 航空安全

## 原則

エアバス社の安全に関するビジョンは、『ゼロ災害の達成を目指し、共に安全を絶えず強化し続けること』です。そのため、最高レベルの安全を確保することが、エアバス社の最優先事項となっています。立場に関わりなく、すべての従業員は、安全を後回しにしないかたちで、それぞれの役割を果たす必要があります。

## 例示的なリスク



現場の従業員が、異物混入防止 (FOD) の対策不足や装備不足であったり、異物混入防止 (FOD) 手順を無視すること。



適切なツールや資格を持たずに、設備・ツールを取り扱うこと。



安全に影響を与えるおそれのある発見事項や不適合を報告しないこと。



安全に関する内部からの進言や提言 (スピーク・アップ) に耳を傾け損なうか、傾けなかったり、考慮に入れなかったりすること。

## 私たちが行うこと

一般の人びとおよび当社製品の利用者の安全を確保する私たちの責務を認識します。

日々の業務において、私たちがどのように安全に貢献しているかを常に意識します。

安全に関する懸念は、直ちに報告します。

## 私たちが行わないこと

安全に関する教訓を共有する機会を逃しません。

事故、インシデント、その他業務上の出来事について、オンラインで議論したり、公の場でコメントをしたりしません。

安全に関する懸念があるときに沈黙しません。

# 品質

## 原則

私たちは、長期的な安全性、顧客満足、そしてエアバスの競争力を確保するため、最高の品質基準を満たした製品を提供する義務があります。すべての従業員には、これらの基準を堅持する責任があり、不適合があれば直ちに報告しなければなりません。

## 例示的なリスク



製品を危険にさらし、取り除く必要がある異物 (FOD)。



仕様を満たさない機器の装着 (設置)。



文書の無許可での変更。

## 私たちが行うこと

必要な資格を取得したうえで作業を行います。

品質に対する責任をもち、自らの過ちを認めます。

文書化された基準や指示に従います。

製品またはシステムの定義を変更する際は、検証 (バリデーション) を依頼します。

継続的な品質改善を追求し、「最初から正しく行う (right first time)」を実践します。

## 私たちが行わないこと

不適合を報告せずに放置したり、修正せずに残したりしません。

効果的に実行されていないタスクは無視しません。

無許可の活動を行うよう、または必要な品質管理を急がせたり、迂回させたりするよう、誰かに圧力をかけたりしません。

内部または外部への報告のために、品質、安全または生産性の指標を偽って伝えたり、捏造したりしません。

# セキュリティ

## 原則

私たちは、機密情報や先端技術を取り扱っており、これらを不正なアクセス、サイバー脅威、物理的な侵入から保護しなければなりません。当社の資産を保護することは、競争力を維持し、事業の完全性を確保し、エアバスの評判を守るために極めて重要です。また、共に働く第三者から託された資産を保護する義務もあります。

## 例示的なリスク



権限のない個人にITアクセスを許可してしまう。



訪問者が「共連れ」（正当な入室者に続いて不正に入ること）により、エアバス施設の物理的な入退室管理をすり抜けることを許容してしまう。



第三者の専有情報を、無許可で使用、改変、または開示してしまう。

## 私たちが行うこと

敷地内では、社員証を着用し、車両通行証を見えるように掲示します。

強力かつ一意（固有）のパスワードを設定し、離席する際はコンピューターをロックします。

法令および会社の要求事項に従って情報を分類し、取り扱います。

セキュリティ上の懸念や不審な活動（例：不審なメール、電話、ランサムウェア、侵入など）をセキュリティチームに報告します。

## 私たちが行わないこと

ログイン認証情報を共有する、複数のアカウントで同じパスワードを使用したり、物理的な入退室管理を回避したり、または社員証の写真をソーシャルメディアに投稿したりしません。

許可なく制限区域で写真や動画を撮影しません。

ソーシャルメディアを介した不審な接続要求や情報に関する問い合わせを受け入れません。

退職後も、エアバスまたは第三者の専有情報を持ち出したり、アクセスしたりしません。

# 環境

## 原則

エアバスは地球環境の尊重に努めており、クリーン・エアロスペースへの道のりをリードすることを目指しています。私たちは、環境と人々の健康を守り、活動、製品、サービスがそのライフサイクル全体を通じて環境に与える影響を低減し、環境マネジメントの実効性を確保することにコミットしています。私たちはすべての環境規制と基準を遵守する責任があります。さらに、社会は責任ある環境マネジメントを期待しており、これは投資や事業の意思決定にも影響を与えます。

Search on the Hub these keywords:  
Environment

## 例示的な事例



産業排出量、および就航中の当社の商用航空機が発生する温室効果ガス排出原単位（排出強度）の削減に取り組んでいます。



製品ライフサイクル全体を通じて天然資源の使用量を削減するため、サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現に向けて取り組んでいます。



職場における私たち一人ひとりの水使用量を減らすことが重要です。なぜなら、当社の水使用量の3分の2は衛生用途（トイレや手洗いなど）によるものだからです。



全従業員を含むステークホルダーと連携し、気候変動とその影響に関する共通理解を築くため、「クライメート・フレスク」セッションを開催し、「クライメート・スクール」を開設しています。

## 私たちが行うこと

環境への影響を理解し、測定し、それを削減します。

規制要件や基準を遵守するため、社内のポリシーと手順に従います。

研修とベストプラクティスの共有を継続的に推進します。

## 私たちが行わないこと

当社の環境実績について、誇張したり、根拠のない主張をしたりしません。

環境に害を及ぼす可能性のある行為や状況を見て見ぬふりをしません。

Search on the Hub these keywords:  
Environment



# 誠実さと コンプライアンス

## 賄賂と汚職

### 原則

私たちは、贈収賄、腐敗、不正な影響力行使に対して一切の容認をしません。これは、事業の獲得や維持、その他の不当な利益を確保するために、他者に対して金銭や価値のあるものを（直接的または間接的に）約束、提供、供与、または要求・受領しないこと（贈収賄）を意味します。同様に、政府関係者や当局に対するその人物の影響力を濫用させる目的で、金銭や価値のあるものを約束、提供、供与することはありません（不正な影響力行使）。また、日常的な行政手続きを迅速化または取得するために、公務員に対し少額で非公式な支払いを行うこともありません（ファシリテーション・ペイメント）。

## 例示的なリスク



今後の航空機取引で有利になるために、顧客の意思決定者が個人的に所有する会社や個人的なプロジェクトに業務を発注してしまう。

再販業者に対し、不正な支払いの資金源として利用される可能性がある過度な割引を当社の製品やサービスに適用してしまう。



オフセット（相殺）義務の一環として、地元当局の要請に基づき、目立った価値のないサプライヤーを選定してしまう。



主要な意思決定者の親族である人物を雇用してしまう。



規制当局による査察訪問が終了した後、週末に豪華な食事と宿泊を伴う観光旅行を手配してしまう。

### 私たちが行うこと

当社製品とサービスの品質に基づいて契約を獲得します。

顧客、サプライヤー、または政府関係者からの、贈収賄の疑いがあるリスクや不適切な要求をすべて報告します。

贈答品や接待を提供または受領する前に、その価値が妥当であり、目的が正当であること（例：当社製品の宣伝など）を確認します。

贈答品、接待、スポンサーシップ、または寄付の価値がエアバスが定める基準額を超える場合は、申告し、事前に承認を得ます。

### 私たちが行わないこと

調達プロセスにおけるキックバック（賄賂）の受領を含む、いかなる形態の腐敗（汚職）行為にも関与したり、それを容認したりしません。

係属中のビジネス、規制、またはその他の意思決定に影響を与えることを意図したり、あらゆる種類の支払いまたは利益を提供、要求、または受領しません。

## 第三者との関係

### 原則

私たちは、最高の品質、誠実さ（インテグリティ）、責任、そして持続可能性の基準を遵守し、エアバスに対して約束した価値を提供できる信頼できる第三者とのみ取引を行います。私たちは、いかなる第三者との関係を開始する前にも、リスクに基づいたデューデリジェンス（適正評価手続き）を実施します。また、事業関係の全期間を通じて、第三者に関する警告を監視します。

## 例示的なリスク



私たちに代わって支払いを提供、実行、または要求できると示唆する第三者と取引してしまう。



明確な業務範囲と書面による契約なしに、第三者（例：販売仲介業者、戦略アドバイザー、ロビイスト、またはパートナー）と契約してしまう。



最終的な実質的支配者や資金源が不明確な第三者と取引してしまう。



意思決定者とのコネクションを理由に、彼らの決定に不当な影響を与える目的で、販売仲介業者、コンサルタント、またはアドバイザーを雇ってしまう。

### 私たちが行うこと

法務・コンプライアンスチームと協力し、すべての第三者を適切に分類し、そのリスクプロファイルに応じてデューデリジェンス（適正評価）を実施します。

第三者が倫理的リスクをもたらすことを示唆する情報を持っていれば、声を上げます（スピーク・アップ）。

第三者の行動が本規範の原則に反する場合、適切な措置を講じます。

### 私たちが行わないこと

適切なデューデリジェンス（適正評価）および調達プロセスが完了する前に、会社の方針を回避したり、第三者と契約しようと試みたりしません。

エアバス自身では実行できない約束や支払いをさせるために、第三者を利用しません。

# 詐欺

## 原則

私たちは、エアバスの資産を損失、損傷、盗難、不適切なアクセス、または誤用から保護します。私たちは、当局、規制機関、その他のステークホルダーに対し、常に誠実さ、透明性、そして敬意をもって対応します。私たちは、取引や出来事を公正に反映させ、不適切な取引を防止または発見し、すべての財務・非財務記録および報告書が完全、正確、適時、信頼でき、公正であることを保証するためのプロセスと内部統制を維持します。

## 例示的なリスク



会社のクレジットカードを業務外の費用に不正に使用してしまう。費用や業務経費の記録を適時かつ正確に行わない。



詐欺を防ぐための規則を意図的に回避してしまう(例:フィッシング詐欺に遭わないための「四つの目」の原則の適用など)。



虚偽の情報を提供したり、重要な詳細を省略したり、記録を改ざんしたりして他者を欺く、または他者がそうするのを手助けしてしまう。

## 私たちが行うこと

特定された誤りは正直かつ迅速に修正し、記録や報告書の正確性に問題があることに気づいたら、声を上げます(スピーク・アップ)。

エアバスの資産の適切な購入、保管、移動、使用、および処分に関する手順と管理を遵守し、文書と記録の保存に関するすべての法令を遵守します。

詐欺に悪用される可能性のある、エアバス外部から受信した通信に対して常に警戒を怠りません。

## 私たちが行わないこと

会計記録やその他の業務記録を改ざんしません。また、規制当局、監査人、またはその他の当局への不適切または不十分な開示を容認したり、容易にしたりしません。

会社の資源を業務外の目的や不当な個人的利益のために不正に使用しません。

# 輸出管理(エクスポート・コントロール)と制裁

## 原則

私たちは責任ある輸出者として、事業を展開するすべての法域において、世界の輸出管理法、制裁措置および禁輸措置を遵守します。これらの法令は、国家安全保障、武器拡散の防止、地域の安定、そして人権の保護を支えるものです。

Search on the Hub these keywords:  
Export control • Sanctions • Embargoes

## 例示的なリスク



ライセンス要件を回避するために、物品、ソフトウェア、または技術の分類を誤らせる。



ラップトップを持って海外へ渡航する際や、規制対象の資料をダウンロードする際に、輸出管理規制を考慮に入れない。



適切な最終需要者証明書(エンドユーザー・ステートメント)を受領せずに、顧客に文書を提供する合意をしてしまう。



従業員や協力会社に対し、規制対象物資へのデジタル的および物理的なアクセスを適切に分離せず、保護しない。

## 私たちが行うこと

有形・無形の資料を分類し、印を付け、輸出前に適切な承認を得ます。

取引が適用される制裁措置および取引制限対象者リストに準拠していることを確認し、最終用途、最終需要者、および仕向地が許可されていることを確認します。

潜在的な輸出を検討する際には、人権デューデリジェンスを実施します。

制裁措置の潜在的な迂回や、当社の製品・サービスの誤用に関連する兆候について常に警戒し、報告します。

## 私たちが行わないこと

必要な承認またはライセンスなしに、規制対象品目[文書やデータへのアクセス許可(会社従業員へのアクセス許可を含む)も含む]を輸出しません。

軍事情品目のみが輸出管理規制または制裁の対象となるといった思い込みはしません。

重要な情報や全体的な整合性を検証せずに、第三者から提供された情報(例: 分類やライセンスの範囲など)に依存しません。

## 公正な競争

### 原則

私たちは、市場を保護し、取引を制限したり公正な競争を妨げたりする行為を禁止する、競争法および独占禁止法を尊重します。私たちは、自社の知的財産を保護し、他者の知的財産権を尊重しつつ、倫理的に情報を交換し、ビジネスインテリジェンスを収集します。

Search on the Hub these keywords:

Fair competition • Antitrust • Competitive intelligence • Intellectual property

## 例示的なリスク



競合他社と、価格条件やその他の商業的に機密性の高い情報について議論したり、交換したりしてしまう。



誤って受け取った第三者の専有情報や機密情報を利用してしまう。



エアバスの知的財産への不正なアクセスを提供したり、個人的な利益のために不正利用したりしてしまう。

### 私たちが行うこと

競合他社と情報を交換したり、何らかの合意を締結したりする前に、法務・コンプライアンスチームから助言を求めます。

顧客またはパートナーから提供された機密情報や専有情報を、適用される方針に従って保護し、管理します。

作業スペースを離れる際や、エアバスの敷地外で作業する際は、エアバスの専有情報への不正アクセスを防止し、確実に保護します。

### 私たちが行わないこと

違法な手段によって、またはエアバスの従業員であることを明かさずに、競合他社の情報を収集したりしません。

不明確な状況下で、不審な情報源から、または欺瞞によって入手された競合他社の情報を受け入れません。

競合他社と、価格、価格決定方法や方針、利益率、販売条件、生産能力、入札への参加など、商業的に機密性の高い情報の直接的または間接的な交換を行いません。

談合（入札操作）、価格カルテル（価格の固定）、市場または顧客の割り当てに関する議論に関与しません。

# 利益相反

## 原則

私たちは、エアバスの最善の利益のために行動する際に、個人的な利益が公正かつ客観的な意思決定能力を妨げたり、妨げているかのように認識されないよう徹底します。利益相反それ自体が必ずしも問題であるとは限りませんが、利益相反を適切に申告せず、管理を怠ると、当社の社会的評価を損ない、会社に悪影響を及ぼす可能性があります。

## 例示的なリスク



エアバスと取引のある会社に金銭的な利害関係を持ってしまふ、またはその会社の関係者と親密な個人的関係を持ってしまふ。



エアバス外部で親密な個人的関係を持つ人物を、雇用したり監督したりしてしまふ。



エアバスの利益と直接的または間接的に相反する可能性のある、エアバス外での雇用（有給または無給）を続けてしまふ。



個人的または金銭的な利害関係を理由に、入札の際に特定のサプライヤーを優遇してしまふ。

## 私たちが行うこと

利益相反が生じる可能性のあるいかなる状況も、法務・コンプライアンスチームに開示し、協議することで、彼らがリスクを評価できるようにします。

利益相反が確認された場合は、リスクを軽減するための措置を明確にし、文書化します。

利益相反に関する質問がある場合は、法務・コンプライアンスチームまたは人事ビジネスパートナー（HRBP）に連絡します。

## 私たちが行わないこと

実際または潜在的な利益相反に関する情報を隠蔽したり、自己判断で処理したりしません。

家族や親しい友人を雇用したり、監督したりする立場に身を置きません。

個人的な利益がエアバスの事業上の意思決定に影響を与えかねない状況を放置しません。

# インサイダー取引

## 原則

私たちは、エアバスまたは他社の証券(株式、債券、デリバティブなど)の価格に影響を与える可能性のある重要かつ未公開の情報を持っている場合、これらの証券を売買しません(「インサイダー取引」)。私たちがアクセスしうるあらゆる内部情報の機密性を保護し、内部情報に基づいて他者に当社の証券を売買するよう助言したり、示唆したりしません(「ストック・ティッピング」)。

## 例示的なリスク



未発表の四半期決算情報(例:収益、利益、キャッシュフロー、費用、その他の財務実績や予測など)を把握している状態で、エアバス株を売買してしまう。



未公開情報(例:月次の受注・納入状況、生産目標やコスト目標、重要な訴訟や調査、上級経営陣の変更など)を、たとえ意図せずとも、取引に利用する可能性のある誰かと共有してしまう。



エアバスが合併または買収を計画している会社の株式を、その取引が発表される前に購入してしまう。

## 私たちが行うこと

意図しない開示を避けるため、あらゆる未公開情報の機密性を維持します。

エアバスのインサイダー取引規則を熟知し、遵守します。これには、特定の上級従業員を対象とした指定された「取引禁止期間」中のエアバス株取引の禁止が含まれることを理解します。

情報が偶発的に漏洩するのを防ぐために注意を払います。意図的でない行為であっても、適用されるインサイダー取引法に違反する可能性があることを理解します。

## 私たちが行わないこと

取引を計画している時点で内部情報を持っている場合、エアバスまたはその他の会社の証券を売買しません。

友人や家族を含む社外の誰とも内部情報を議論しません。

私たち自身が取引を許可されていないときに、私たちに代わって取引を行うよう他者に依頼しません。

# マネーロンダリング と脱税

## 原則

私たちは、適用されるすべてのマネーロンダリング防止 (AML) およびテロ資金供与対策の法令を遵守し、合法的な情報源から受け取った資金のみを受け入れることにコミットしています。私たちは、真の事業活動を行っている評判の良い顧客とのみ取引を行います。同様に、サプライヤー、顧客、またはその他の第三者による租税回避を幫助または容易にするような取引は行いません。

## 例示的なリスク



財源または資金源を偽装してしまう。



顧客の事業内容と矛盾する支払いや、異常に複雑な取引または支払い構造を伴う支払いを許可してしまう。



居住国での課税所得の申告を避けるため、タックスヘイブンを經由して支払いを迂回させる第三者と取引してしまう。

## 私たちが行うこと

顧客確認ポリシー (Know Your Customer) やサプライヤー確認ポリシー (Know Your Supplier) に従い、すべての取引先がウォッチリストに対してスクリーニングされ、適時にデューデリジェンス (適正評価) が行われるようにします。

第三者の財源および実質的支配者、すなわち法人を最終的に実効支配している個人を理解し、特定するために合理的な措置を講じます。

マネーロンダリングや租税回避に関連する危険信号に注意を払います。これには、私たちが支払いを行う、または資金を受け取る銀行口座の所在地が含まれることを理解します (例: 取引相手の銀行は、その居住国または事業活動の拠点国にあるべきである)。

## 私たちが行わないこと

事前の承認なしに、契約関係にある顧客以外の組織から支払いを受け入れません。

元の支払いがなされた銀行口座ではない口座への払い戻し (返金) 発行に同意しません。

契約上の取り決め、財務要素、または企業構造が不透明であるか、文書化が不十分な合意を締結しません。

# デジタル倫理

## 原則

私たちは、持続可能性の目標達成を助けるためにデジタル技術を活用しています。私たちは、人間性とテクノロジーのバランスを取りながら、デジタル技術を合法的、責任ある、倫理的な方法で使用することにコミットします。これには、人権とプライバシーの尊重が含まれます。

## 例示的なリスク



ユーザーに通知せず、その目的、入力、および出力を説明することなく、人工知能システムを導入してしまう。



関係者に通知せずに個人情報を収集し、明示された目的以外の用途に利用してしまう。



当該情報にアクセスする正当な理由がない人びとと個人情報を共有してしまう。



虚偽または有害な情報を拡散するためにテクノロジーを利用してしまう。

## 私たちが行うこと

個人を尊重し、倫理とプライバシーを念頭に置いてデジタル技術を設計・利用します。

私たちが管理・共有する個人情報を保護するための措置を講じます。

公平性を確保し、偏見を防ぐために、人工知能システムを定期的に見直します。

特定の目的に必要な個人情報のみを収集し、必要な期間だけ保持します。

## 私たちが行わないこと

個人的、道徳的、または政治的な問題に関する意思決定を行うために人工知能を使用しません。

適切な保護措置なしに、エアバスのデータまたは第三者のデータを使用または共有しません。

A series of 25 horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.



私たちの行動が  
未来を形作ります



**AIRBUS**

AIRBUS S.A.S. 31700 Blagnac Cedex, France  
©Airbus SAS 2026 - All rights reserved.  
Airbus, its logo and product names are  
registered trademarks. Concept design  
by Airbus Multi Media Studio.  
Photos by Airbus, Gettyimages.  
Reference 20250650. April, 2026.